

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、英文は6,825円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

アジア泌尿器学会(UAA)とAsia School of Urology(ASU)からの依頼をうけてバングラデッシュでの国際会議に講師として出席している。関西空港で「地球の歩き方」をさがしたがバングラデッシュ版は無い。ネットで調べると、首都はダッカ、人口1億4,000万で国土が狭いため最も人口密度が高く、貧しい国と書いてあった。バングラデッシュの泌尿器科医は70人くらいで、取り扱う疾患は感染症と結石や外傷を含む尿路通過障害が多いとのことであった。また分娩に起因する膀胱腔瘻が多く、単独施設で3年間600例の修復術の経験に関する報告もあった。日本からもうひとり招聘された信州大の加藤先生の話では、バングラデッシュは早婚で、骨盤が小さいうちに出産するのが原因とのこと。それにしても日本の泌尿器科事情とはかけ離れている。癌の患者も多いそうだが、すでに進行癌であることが多く、主催されたSalam教授は「早期発見には患者はもちろん一般医師の啓発が必要」と力説しておられた。

政情不安定のため3月開催が6月に延期となったこともあって、家内には同行を固辞された海外出張だったが、それなりにおもしろい体験もした。カレーはおいしいが、毎食だと飽きる。バングラデッシュの代表的フルーツは「ジャックフルーツ」という大きな果実で、生まれてはじめて食べさせてもらった。種のまわりの果肉を食べるのだが、甘くておいしく、食べた後の指には高級な香水のような香りが残る。貧しいバングラデッシュの国情とのアンバランスに忘れられない思い出となった。

(小川 修)

泌尿器科紀要 第53巻 第7号 2007年7月25日 印刷 2007年7月31日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190
<http://www.kiyou.jp/>

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
